

中川かつとし



徳本みづか



日本共産党 白井市議員団ニュース

ニュース

しろい共産党NEWS Vol.6

12月議会 一般質問 市民の安全・給食・過労 大切な問題を問います

白井市役所東庁舎4階の議会事務局で、傍聴券に記入後、議場へお越しください。

12/4(水)10時~ 中川かつとし



元教師としても
見逃ごせません

先生の過労死を促進する危険があるのでは？

①学校教員の給与特別措置法(給特法)改正案の変形労働時間制について

今国会で議論された「給特法改正案」は、小学校で3割、中学校で6割の教員の労働時間が過労死ラインに達している現状を変えられるのか、疑問が投げかけられています。教員の過労問題を白井市としてどう考えるのか、みなさんにも知って、考えてもらいたいと思います。

ここがポイント！「給特法改正案」

教員の勤務時間を年単位で管理する「変形労働時間制」で、繁忙期は今まで以上の勤務時間に引き上げ、その分の休みは夏休みなどで「まとめ取り」。「時間外・休日勤務手当なし」「月100時間の残業でも罰則なし」のまま。

12/4(水)13時過ぎ~ 徳本みづか

子ども達や保護者と時間をかけて話し合いを

①市の学校給食のあり方について



市は財政節約のため、桜台小中学校の自校式給食を廃止してセンター給食に組み込む計画を示しています。自校式・センター方式の両方について、健康と教育の視点、災害時の活用等の視点で市の考えを問い、よりよい学校給食のあり方を提案します。

地震が来たら天井崩れる改修でいい？

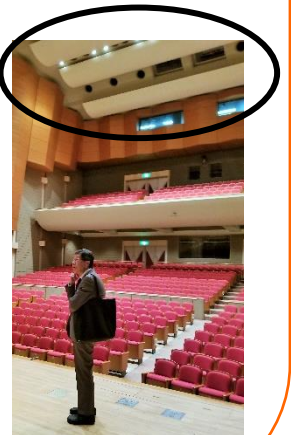
落下の危険がある天井

②文化会館大ホール天井の改修について

2011年の東日本大震災では、全国で2000もの施設の天井落下により、多くの死傷者が出ました。

白井文化会館の天井も新しい安全基準不適合で、地震で落ちる危険があるとの調査結果が出ました。市が実施を急ぐ改修方法は、改修案の中で一番安く休館せずに行えるものの、国の基準に満たず、「天井が落ちて一時的に保持する性能はある」というものです。私たちは詳細を知り、改修方法を選ぶ権利があるのではないのでしょうか？

中川・徳本2人で大ホールを見学し、天井や設備の説明を受けました(2019.11.19)



白井民報 2019年11月発行 日本共産党白井市委員会

<連絡先> 堀込1-5-3-104

電話&FAX 047-491-5390 中川勝敏

清水口2-4-13-406

電話&FAX 047-404-2754 徳本光香

